

## IV. 履修申請

## 1. 履修申請の単位数の上限設定 (CAP制度)

大学での学修は、単位制度の趣旨から履修申請単位数の制限を行っています。ここに定める単位数を超えて履修申請をすることはできません。よく考えて卒業までの履修計画を立てる必要があります。

## (1) 履修申請単位数の上限

学部	入学年度	学 年			
		1年次	2年次	3年次	4年次
地域経営学部	全入学年度 共通	40単位	44単位	46単位	46単位
情報学部	全入学年度 共通	46単位	46単位	46単位	46単位

## (2) 履修申請単位数の上限に含まれない科目

以下の科目は、(1) 履修申請単位数の上限に含みません。

- ア 不定期に開講される科目 (集中講義など)
- イ 各学科に配置されている他学部、他学科の科目
- ウ 単位互換科目 (単位互換科目 I～VI)
- エ 以下の表に示す学科ごとに定められた科目

2024年度以降入学生用

学部	履修申請単位数上限に含まれない科目
地域経営学部 地域経営学科	海外語学研修 I、海外語学研修 II、地域経営演習 I、地域経営演習 II、地域経営研究 I、地域経営研究 II、地域経営研究 III、地域経営研究 IV、地域経営研究 V、地域経営研究 VI、アカデミックライティング、社会調査入門、コンピュータ基礎演習、データ分析基礎演習、国際フィールドワーク、社会調査演習 I、社会調査演習 II、キャリアデザイン I、キャリアデザイン II、地域キャリア実習 I、地域キャリア実習 II、卒業研究
地域経営学部 医療福祉経営 学科	海外語学研修 I、海外語学研修 II、地域経営演習 I、地域経営演習 II、地域経営研究 I、地域経営研究 II、地域経営研究 III、地域経営研究 IV、地域経営研究 V、地域経営研究 VI、アカデミックライティング、社会調査入門、コンピュータ基礎演習、データ分析基礎演習、国際フィールドワーク、社会調査演習 I、社会調査演習 II、キャリアデザイン I、キャリアデザイン II、地域キャリア実習 I、地域キャリア実習 II、卒業研究、病院実習
情報学部 情報学科	海外語学研修 I、海外語学研修 II、地域情報PBL I、地域情報PBL II、地域情報PBL III、地域情報PBL IV、地域情報プロジェクト I、地域情報プロジェクト II、地域情報プロジェクト III、地域情報プロジェクト IV、情報学アカデミックスキル、インターンシップ実習 I、インターンシップ実習 II

## (3) 履修申請単位数の変動について (変動型CAP制度)

前年度のGPAが3.0以上である場合、新たな年度において履修上限単位より **4単位拡大**して申請することができます。

## 2. 履修申請要件

---

有効な履修申請を行うためには、次に定める要件をすべて備えていなければなりません。履修申請はすべて自己の責任において行ってください。

- ① 必修科目は担当されている年次に必ず申請してください。
- ② 所属年次に担当されている授業科目以外に下級年次担当の授業科目も申請することができます。ただし、諸事情により不開講となる場合や担当セメスターが変更される場合がありますので注意してください。
- ③ 履修申請は授業時間割に従って登録してください。
- ④ 重複申請（同一時間に2科目以上登録すること）をした場合、当該科目はすべて無効となります。
- ⑤ 二重申請（すでに所定の単位を修得した科目を再度申請すること、及び同時に同一科目を2科目以上申請すること）をした場合、当該科目は無効となります。（修得済のものは有効）
- ⑥ 各年次において、定められている履修上限単位数を超えて申請することはできません。

## 3. 履修申請の手順

---

各年度または学期に履修する科目については、専用の Web サービスを使用して申請してください。その際、「履修のてびき」「授業時間割表」「講義概要（シラバス）」を必ず参照してください。

詳細は学期当初のオリエンテーション（教務ガイダンス）で説明します。

## 4. 履修指導の担当教員について

---

### 地域経営学部

履修指導について、1年生は地域経営演習のクラス担当教員、2年生以上はゼミの指導教員が担当します。正しく履修できているか、学修計画が正しく立てられているか確認してもらう必要があります。1年生の指導教員はオリエンテーションにおいて紹介します。

### 情報学部

履修指導について、1年生、2年生は担任が行います。担任は各入学年度に配置された複数名の情報学部の教員です。春の履修指導から日々の学生生活の情報把握を行います。履修指導では、正しく履修できているか、学修計画が正しく立てられているかについて担任に確認してもらう必要があります。担任についてはオリエンテーションの際に詳細を説明します。

## 5. 履修申請上の注意

---

### (1) 再履修

科目によっては、再履修クラスを設定しています。当該科目が配当されている年次に単位が取得できなかった場合は、時間割を確認して再履修クラスを申請するようにしてください。

### (2) 履修者制限

授業科目の中には授業の性格上、また設備・座席の都合上、受講生数の制限をする科目があります。具体的には語学科目、実技科目（情報処理関連科目）、実習科目（現場実習を含むもの）、PC教室を使用する科目等が該当します。その他の科目にも人数制限される場合がありますので、講義概要（シラバス）・授業時の指示・掲示等に十分注意して下さい。

### (3) 履修の削除

一定の期間授業を履修した結果、一部の科目について履修を続けるのが困難だと判断した場合、履修削除の申請をすることで、学期の途中で科目の履修を削除することができます。履修削除した科目はGPAの計算には算入されません。

ただし、履修の削除は、ポータルサイトではできません。削除する科目がある場合は、期限内に1号館1階の学務課教務係の窓口に申請用紙を提出してください。

履修を削除できる期間は限られています。学期初めのガイダンスで説明をよく聞き、履修削除の申請が可能な日程を必ず確認してください。期限を過ぎてからの削除は一切受け付けません。

### (4) 履修条件

事前に特定の科目を履修（あるいは修得）しておく必要がある科目など、履修する際に条件が課されている科目がありますので注意してください。

### (5) 授業の統合・閉講

履修登録者数が5名未満の科目あるいはクラスについては、同一科目の別クラスと統合、または当該授業科目を閉講することがあります。

### (6) 隔週開講

授業によっては、隔週（2週間に1回）で開講する科目があります。ポータルサイトによる連絡、あるいは教員の指示に従って受講してください。

(7) 集中講義

集中講義とは、通常授業期間には授業をせず、所定の期間（学年暦を参照）に行うものです。夏期の集中講義の単位認定は前学期の成績に反映され、冬期の集中講義の単位認定は後学期の成績に反映されます。

(8) 地域経営学特別講義Ⅰ、地域経営学特別講義Ⅱ（地域経営学部のみ）

1年次後学期から履修が可能な科目です。地域経営学の学びを深めるために開講する科目です。科目の詳細はシラバスを確認して下さい。

(9) 他学部・他学科の開設科目の履修

他学部・他学科の授業について、学科別の科目配置表に表記されている科目は履修申請することができます。

(10) 不開講科目

やむを得ない事情により、科目配置表にあるにもかかわらず当該年度に科目が開講しない場合があります。その場合は各期のガイダンス等で連絡しますので、翌年度以降に履修してください。